

2022年06月28日

NTTファイナンス株式会社と「ESG経営支援ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱UFJフィナンシャルグループの一員である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

本日、NTTファイナンス株式会社（代表取締役社長 伊藤 正三）は、本商品にてタームローン契約を締結いたしました。

また、MUFG ESG 評価において、「業界をリード」と最高評価である S ランクを取得しました。

NTT グループは、持続可能な社会の実現に向けて、高い倫理観と最先端の技術・イノベーションに基づく IOWN 構想の実現をはじめ、企業としての成長と社会課題の解決を同時実現する「NTT グループサステナビリティ憲章」を制定しています。このなかで、環境とエネルギー課題への対応を重要テーマの一つとして位置付け、グループを挙げて一層の取り組みを行っていく方針を立てています。

今回、その一環として、今回、株式会社三菱UFJ銀行「ESG 経営支援ローン」にて調達した資金を、環境課題の解決に資するプロジェクトに充当することにより、社会の持続的成長への貢献を目指してまいります。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

- ✓ 環境側面（E）では、環境エネルギービジョン「NTT Green Innovation toward 2040」において 2040 年カーボンニュートラルを目指すという目標を掲げ、再生可能エネルギーや高効率設備の導入などの排出削減活動を進めている点、また、TCFD 提言に基づく情報開示を適切に実施している点、循環型社会の実現を目指し 2030 年までに NTT グループが排出する廃棄物のリサイクル率を 99%以上とするという目標を掲げ、全社的に 3R の取り組みを推進している点などが高く評価されました。
- ✓ 社会側面（S）では、女性の新任管理者登用率/女性役員比率/女性管理者比率やリモートワーク実施率、総労働時間といった指標について定量的な目標を設定し、多様な働き方、多様な人材の活躍を実現するための施策を実行している点、また、自社グループおよびサプライヤーを対象とした人権関連の方針/ガイドラインを策定の上、人権デューデリジェンス等の取り組みを実施し人権課題への対応を進めている点などが高く評価されました。
- ✓ ガバナンス側面（G）では、ESG 領域（サステナビリティ領域）全般に関して意思決定を行

う「サステナビリティ委員会」を設置し、同委員会にてグループ全体のサステナビリティに関わる基本戦略等について議論・決定している点や、実効性評価について第三者機関を起用しつつ適切に実施している点、企業倫理の観点から税務方針を策定・公表している点、役員に対して組織の経済・環境・社会目的と連動したパフォーマンス評価を実施している点などが高く評価されました。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上